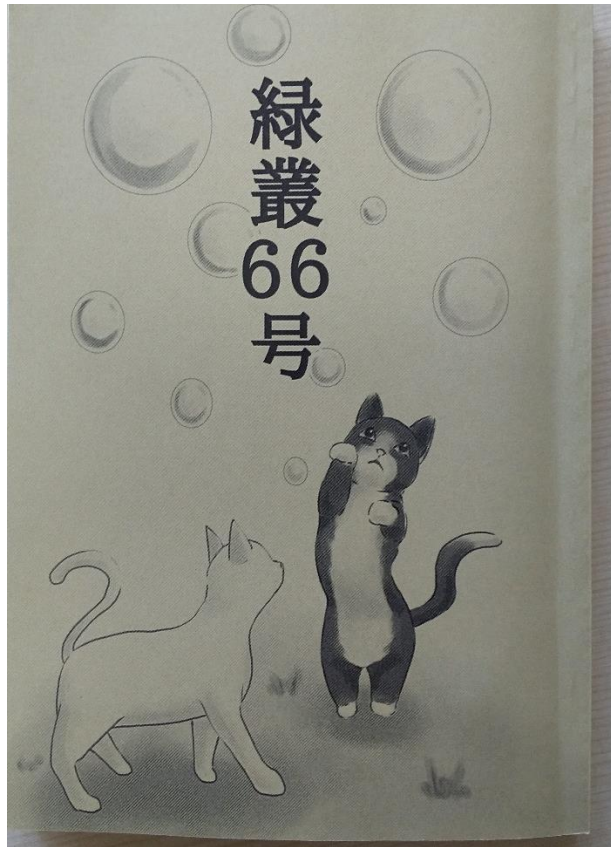


【緑叢】

☆ 島根県 ☆ 島根県立出雲高等学校



【文芸部誌紹介】

こんにちは、出雲高校文芸部です。私たちは普段、「坩堝(るつぼ)」「泡沫(うたかた)」「琥珀(こはく)」「緑叢(りよくそう)」といった、四種類の部誌の制作に励んでいます。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、制作が滞っていますが通常、毎月発行しています。

「坩堝」は、その名の通り部員の個性が光る多種多様な作品が混じり合った自由な作品集です。テーマを決めてみたり、新たな企画に挑戦したり、毎度楽しく制作しています。

「泡沫」は、「坩堝」と比べて詩や俳句・短歌がメインとなっています。また、必ずテーマを決めて作っているので「坩堝」よりも統一感のある仕上がりになっています。

「琥珀」は、部員の間で代々語り継がれている幻の部誌です。「坩堝」「泡沫」に載せきれないほどの長編小説を収録するための部誌と言われており、実際に刊行されたという記録は見つかっていない謎の多い作品集です。

「緑叢」は、出雲高校文芸部を代表する年刊の部誌です。学年ごとに企画を組んだり、質の高い作品作りのために部員同士で何度も推敲を重ね、毎年一番力を入れて制作しています。また、完成品は出雲高校の学園祭「久徴祭」や他校との交流の際に配布しています。今年で創立100周年を迎える我が校で、99号を数える歴史ある部誌「緑叢」。これからも是非、作り続けていきたいです。

伝統を受け継ぎ、新しいことにも挑戦を続け、出雲高校文芸部をもっと盛り上げていけるようこれらの部誌の発行に励んでいきたいと思ひます。

【学校紹介および文芸部の活動】

出雲高校は今年で百周年を迎えます。この記念すべき年に生徒として関わる事ができて、とてもうれしいです。

私たち文芸部も多くの歴史を背負い、これからも学校とともに成長していきたく思ひます。今年度前半はなかなか活動できない状況になってしまいましたが、部員皆でもう一度盛り上げていけるよう創作活動に励んでいきたく思ひます。